

新庄市民から「あじさいスタジアム」の愛称で親しまれている新庄市民球場では、これまで使用していたナイター設備のメタルハライドランプ投光器とナトリウム投光器をLED投光器にリニューアル。台数を半減しつつ消費電力を低減させ、照度、均斉度をアップしたことでプレーしやすいナイター照明に生まれ変わりました。

新庄市民球場は、JR新庄駅から歩いて15分の東山運動公園内にある野球場です。公園内には陸上競技場、市民プール、市体育館、テニスコートなども整えられ、新庄市のスポーツ拠点となっています。現在の野球場は二代目で、もともと1953年に最初の球場が建築され、老朽化により1993年に建替えられたものです。市民からは「あじさいスタジアム」の愛称で親しまれています。



【物件概要】
所在地：山形県新庄市金沢1398-3
球場面積：13,700㎡
収容人員：12,000人
施主：新庄市
設計：株式会社双葉コンサルタント
施工：電気／株式会社富士電気工事
竣工：2026年3月



バックネット裏後方からやや左方向を見たLED投光器①②のナイター照明

LED投光器により照度、均斉度をアップし、明るくムラのない照明でプレー環境を向上。

新庄市民球場はトレーニング室、室内練習場なども備えた野球場で、両翼は98m、中堅は122mの広さがあり、外野には選手の足腰への負担が軽減される天然芝が敷き詰められています。数年ごとにプロ野球イースタン・リーグの公式試合が開催されるほか、高校野球県大会、社会人野球リーグなどの公式試合のほか、少年野球、草野球と幅広く利用されています。ナイター設備の改修は老朽化にともなうもので、主に消費電力の削減、台数減による耐風圧等の削減、均斉度アップを目的に行われました。

従来のメタルハライドランプ投光器108台、ナトリウムランプ投光器108台の混光から1.5kWメタルハライドランプ器具相当のLED投光器108台にリニューアル。既設の6基の照明塔に各18台を設置。全点灯時における平均照度は、内野922ルクス（従来700ルクス）、外野550ルクス（従来400ルクス）、バッテリー間1093ルクス（従来1000ルクス）、均斉度は内野0.77、外野0.53となり明るくムラのない照明で、プレー環境を向上しました。またLED投光器は優れた防塵、防水性能を有しメンテナンスの負荷も軽減します。



既設照明塔に設置されたLED投光器



左側から望んだグラウンド上の照明



センター後方からホームベース方向を望む



三塁側ベンチ後方から左方向を望む



全点灯（左）と利用者の選択で1/2点灯（右）にも対応



主な掲載器具一覧					
設置場所		器 具 名（品種名）	形 名	台数	備考
照明塔	①	LED投光器 OptiVision LED 1.5kWメタルハライドランプ器具相当（中角タイプ）	BVP518-2S6N	54	消費電力：940W
	②	LED投光器 OptiVision LED 1.5kWメタルハライドランプ器具相当（広角タイプ）	BVP518-2S8N	54	消費電力：940W